

REPORT

大連の自動車事情

～自動車普及から見える大連市の経済発展～

1. はじめに

世界一の人口を抱える中国の自動車市場は昨年、悲願ともいえる年間生産・販売台数について、ともに1,300万台突破を果たし、初めて世界一となりました。その背景には、近年の急速な経済成長により個人所得が増加したことに伴い、生活が豊かになってきたことが挙げられます。また2008年の金融危機時においても、中国国内における自動車需要の回復・拡大に向けて実施された経済政策¹⁾が、消費者の購買意欲を刺激し、販売増加に繋がったとされています。

大連は、中国の中でも高い経済成長率を維持している都市の一つです。人々の生活も格段に豊かになってきており、街中を走る自動車の数も急速に増加しています。今回は大連の自動車事情についてご紹介いたします。

1 経済政策...中国では排気量1,600cc以下の低排気量車を補助金支給の対象とし、①買換え時に補助金を支給する
②自動車購入時に必要な購入税を減税する優遇制度で、「以旧換新」政策と言われている。

2. 大連の概況

大連は中国東北三省の海の玄関口と言われ、東北地区を代表する商業都市です。09年の主要



中山広場ロータリー全景

統計(速報値)は、実質成長率が15.0%(中国全体の实質成長率8.7%)、一人当り年間平均可処分所得が19,070元(都市部のみ)になりました。一人当り年間平均可処分所得は5年前の水準の約2倍にまで増加しており、統計数値からも急速に生活が豊かになってきていることが確認出来ます。

3. 自動車普及の現状

大連市交通警察隊車両管理所の統計によると、09年11月までに、全市自動車保有台数は73万7,937台に達しています。これは人口約600万人の大連で10人に一人が自動車を保有しているこ

大連市の主要統計推移

年	戸籍人口 (万人)	GDP (億元)	実質成長率 (%)	一人当り GDP (元)	一人当り年間 平均可処分所得 (元)	中国全体 GDP (億元)	中国全体 実質成長率 (%)
2000年	551.4	1,110.8	11.8	20,270	6,861	89,468	8.0
04年	561.6	1,961.8	16.2	34,975	10,378	136,876	9.5
05年	565.3	2,150.0	14.2	38,155	11,994	182,321	9.9
06年	572.1	2,569.7	16.5	42,579	13,350	209,407	10.7
07年	578.2	3,131.0	17.5	51,630	15,109	246,619	11.4
08年	583.4	3,858.0	16.5	63,198	17,500	300,670	9.0
09年 (速報値)		4,410.0	15.0		19,070 都市部のみ	335,353	8.7

(出所) 大連統計年鑑、大連統計局、中国統計年鑑

とになります。また09年1月から10月までに新しく登録された自動車は9万4,656台に達しています。内訳は小型自動車が7万4,319台、中型・普通自動車が4,590台、その他自動車が1万5,747台です。09年の月平均登録新車台数は約9,500台、一日平均約300台のペースで増え続けているわけですから、その急増ぶりには大変驚かされます。

10人に一人が自動車を持つ時代に突入した大連ですが、特に自動車普及に貢献しているのは小型自動車です。中国では、排気量1,600cc以下でホイールベースが2.45m以下の自動車を指し、中国国産自動車メーカーの低価格車であれば、3万元～5万元(約45万円～約75万円)で購入できる為、今まで自動車を購入出来なかった人々も、購入しやすくなってきました。また、高級車を所有する富裕層の家庭では2台目、3台目と自動車を購入するようになってきています。

4. 中古車市場の状況

中古車市場の整備も、自動車普及に一役かっています。中国の中古車市場は2005年に政府によって交付された「自動車貿易政策」と「中古車流通管理弁法」により、外国からの中古自動車の輸入を禁止していますが、中古車の流通・販売に従事することに対しては、これまでの厳格な審査を取り止め、市場を外資にも開放しました。

中古車販売が急増している背景には、02年以降に販売された大量の自動車が買換え時期を迎えていることが挙げられます。実際に、02年以降に販売された自動車所有者の6割が、「購入から5年以内で買い換える」意向を示していることが、世論調査でも確認されています。

中古車販売台数が新車販売台数を上回ることは、自動車市場の成熟において重要な目安の一つと言われています。中古車販売台数が新車販売台数を大きく上回る日本や欧米などの先進国水準と比べれば、まだまだ遠く及びませんが、近年の中国における中古車販売台数の伸びには、目を見張るものがあります。

経済成長を背景に増加している中間所得者層の間では、割安な中古車への需要が高まっているため、大連の中古車市場は現時点では決して大きくありませんが、今後の拡大が見込まれます。

大連市の中古車販売台数推移

年	大連市の中古車販売台数 (台)	中国全体 中古車販売台数 (万台)	中国全体<参考> 新車販売台数 (万台)
2005年	-	145	397
06年	-	190	517
07年	-	265	879
08年	48,670	273	930
09年 (速報値)	53,744	410	1,364

(出所 中国汽流通協会)

5. 自動車普及に伴う問題点

自動車が急速に普及していく一方で、様々な問題も抱え始めています。

交通渋滞

自動車普及のスピードに対し、インフラの整備は追いついていないことから、朝晩のラッシュアワー時の渋滞は日々激しさを増しています。

また、運転手のマナーも必ずしも良いとは言えず、信号無視や進入禁止の道路を進入する光景をよく見かけます。その為、街の至る所で交通事故が発生しています。中国では交通事故が発生した場合、事故現場をそのまま保存する習慣があります。たとえ道路の真ん中であっても、



ラッシュアワー時の渋滞風景

事故直後のそのままの状態では保険会社や警察を待ちますので、交通渋滞の原因の一つとなっています。

インフラ整備

深刻な交通渋滞問題の解決の為に、交通インフラそのものの整備が必要となっています。特に大連市内中心部の交差点にはロータリーが多く、そのロータリーに向かって5本6本と放射状に幹線道路が接続しています。仮にロータリーを廃止して信号で制御する場合は、立体交差や地下道などが必要となる為、莫大な道路改良費用が必要となります。

大連は、これまで古い建物や街並みを生かしながら都市開発を行って来た為、他の中国の都市にはない魅力があります。しかし、急速に普及している自動車社会に対応するためには、街の魅力を犠牲にしてもインフラを整備するという選択肢も出てくると思われます。

駐車場スペース

自動車の急速な増加を想定していなかった為、駐車場スペースの不足も深刻な問題となっています。街の至る所で路上駐車や、歩道に駐車している光景を見かけます。しかしながら、古い



縦横無尽に走る自動車

建物の多くは駐車スペースを確保した造りにはなっておらず、路上に止めざるを得ないのが現状です。

6. 最後に

自動車が普及していくことは、経済の成長とともに人々の生活が確実に豊かになってきた証です。大連ではインフラ整備等の問題解決が急務となっていますが、この難題をうまく処理しながら、自動車の普及にブレーキをかけず、うまく対処していくことが求められています。今後も自動車普及のスピードは益々勢いを増すことが予想されます。新たなビジネスチャンスとなる可能性を秘めている自動車事情から、これからも目が離せません。

(大連駐在員事務所 宮城 正志)

(参考資料)大連統計局資料、大連市交通警察隊車両管理所資料、中国統計年鑑資料、日本国際貿易促進協会資料

上海編

フンドーダイ株式会社 ~ 百思福食品貿易(上海)有限公司 ~

フンドーダイ株式会社(本社：熊本市)は味噌、醤油等の調味料を製造販売している創業1869年(明治2年)の老舗メーカーです。1995年6月、中国の大連に100%出資による日本人向けの販売会社を設立しました。当時は現地にスーパー等も無く、ホテルのロビーに自社商品を置かせてもらって販売していました。現地における認知度が高まってくると、引き合いも徐々に増え、97~99年には日系スーパーへの販路拡大により売上げを順調に伸ばしてきました。

しかし、日本で農薬のポジティブリスト制度(基準が未設定の農薬等が一定量以上含まれる食品の流通を原則禁止する制度)の開始により、中国から日本へ輸出する農産物も影響を受けることがきっかけとなり、06年5月以降、中国に輸入される日本食品に対する検疫・通関が強化され、特に大連港を経由して輸入する商品の流通は困難を極めました。そこで当時上海にあった提携先を通じ、輸入する商品の通関・流通ルートを新たに確保しました。市場規模の大きな都市への進出を検討していたこともあり、円滑な商品の流通・中国国内全土への更なる販路拡大を図るため、07年10月に輸入販売会社「百思福食品貿易(日本名：ベストフーズ)」を設立しました。

現在、当社はカルフルー、ウォルマート等中国で多店舗展開している大手量販店に対し、100種類以上もの商品を販売しているほか、レストランやホテル向けの業務用タイプの調味料も幅広く取り揃えています。また、現地の二次卸業者を通じた販売方式をとることで、中国全土に



昨年開催された「第3回 日本食品展示商談会 in 上海」にも出展

向けた商品供給も行っています。

当社は、自社以外の日系他社製品についても多くの品目を取り扱っています。このようなワンストップでの取引形態は、商品ごとにメーカーや輸入代理店と交渉する手間が省けるため、小売店側にとっても大きなメリットとなります。また、昨年酒類の販売資格を取得し、取扱商品の幅が広がったことで、新たな販売ルートの開拓や既存販売先へのサービス強化を図っています。

日本の多くの中小食品メーカーにとって、中国へ進出するには、言葉の問題はもちろん、輸出入手続きや中国国内での販路の確保等物流面・商流面で大きな壁があります。一方で、中国でも食の安全に対する関心は高まっており、日本食のニーズも拡大しています。

そのなかで、当社は日本製品の取扱品目の充実やワンストップ取引などによる付加価値を高めており、更なる成長が期待されます。

(上海駐在員事務所 田中 正洋)

PROFILE

現地事務所名 / 百思福食品貿易(上海)有限公司

住 所 / 上海市延安西路2299号上海世貿商城2102

T E L / +86 21 6236 1122

F A X / +86 21 6236 3113

親会社名 / フンドーダイ株式会社

住 所 / 熊本県熊本市楠野町972

T E L / 096 245 0111

F A X / 096 245 2352



百思福食品貿易(上海)の社員の方々